

## 重点施策 14 文化財の保存及び積極的な活用

### 【施策方針】

国重要文化財に指定されている日土小学校の校舎見学会や梅之堂三尊仏の一般公開等、文化財の保存・活用に努めるとともに、唐獅子五ツ鹿共演大会等を通じ伝統的行事文化の継承を図り、旧白石和太郎洋館を中核とした保内町の古いまちなみの保存、紹介を行う。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

##### ■文化財の保存、継承

- ① 重要文化財日土小学校校舎見学会
- ② 梅之堂三尊仏の一般公開
- ③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開
- ④ 菊池清治邸管理、一般公開
- ⑤ 文化財保護審議会の開催
- ⑥ 歴史的建造物の保存、整備

#### (2) 主な施策・事業の実施状況

##### ① 重要文化財日土小学校校舎見学会

平成 24 年、戦後木造建築として初めて国重要文化財に指定された日土小学校は、全国から多くの見学依頼が寄せられているが、現役の小学校であることから、児童への影響を考え原則非公開とし、長期休暇の間に年 3 回の見学会を計画した。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏休み見学会は中止したが、12 月、3 月の 2 回開催し、120 人が見学に訪れた。

##### ② 梅之堂三尊仏の一般公開

国指定重要文化財である梅之堂三尊仏の一般公開は、6 月から 12 月の第 2 日曜日及び 8 月 15 日、10 月 19 日の合計 9 回となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5, 8, 9 月の 3 回は中止した。

##### ③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開

市指定文化財旧白石和太郎洋館については、毎月第 2・第 4 日曜日に一般公開し、随時イベントや会議用に貸し出しを行った。旧保内町の繁栄、栄華の跡を今日にまで遺すものとして、公開は無料とした。

洋館の管理は、一般から募集した管理者に委託している（旧白石和太郎洋館管理委託料 240 千円）。また、まちなみ見学用駐車場及び公衆トイレ管理業務についても、同じくこの洋館の管理者に委託した。見学用駐車場と公衆トイレは、旧白石和太郎洋館を中核とした旧保内町のまちなみの見学者・来訪者専用にしたものである（まちなみ見学用駐車場及び公衆便所管理業務委託料 240 千円）。なお、本町にも町並み見学用駐車場を整備し供用を開始している。

④ 菊池清治邸管理、一般公開

市指定文化財菊池清治邸については、毎月第2日曜日に一般公開している。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6回は一般公開を中止した。公開日には八幡濱みてみんな会のメンバーによる案内を行っている。

また、清治邸の管理について、八幡浜青年会議所に委託しており（菊池清治邸管理委託料1,356千円）、一般公開以外の見学者の対応も担っている。

⑤ 文化財保護審議会の開催

有識者による文化財保護審議委員を各分野から選任し、文化財の保護、新しい市文化財の指定及び指定の解除等について議論をし、文化行政に反映させる意見や助言をいただいた。

⑥ 歴史的建造物の保存、整備

八幡浜街道笠置峠越の国の史跡指定を受け、見学者用駐車場を整備し、利便性の向上を図った。

【事務事業点検評価委員意見】

- 国の重要文化財に指定された日土小学校は、松村正恒さんの設計による素晴らしい木造建築である。「子どもが快適に暮らせる、人に優しい空間とは何か」ということを考えて設計したと聞いている。全国から多くの見学依頼があるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年2回開催し、120人が参加できた。夏休み見学会は中止したが、感染対策をしながら実施したことで、参加者にとって有意義な見学会になったと思われる。
- 国指定重要文化財梅之堂三尊仏の一般公開については、感染対策に気を付けながら6回も開催できたことは、素晴らしいと思う。53人の参加があったが、広報などに掲載する場合、住民が興味をもてるような工夫も必要かと思われる。
- 旧白石和太郎洋館は、旧保内町の繁栄・栄華の跡を今日まで残すものとして、非常に貴重な建物である。昨年度は、539人の参加があり人気がある。トイレや駐車場が、しっかりと整備されていることは、見学者や来訪者にとってありがたく、好印象が残ることになる。
- 市指定文化財菊池清治邸は、八幡浜市の誇る豪商の屋敷である。八幡濱みてみんな会の案内で、一般の人の案内を始め、青年会議者が事務所として保全に関わっている。このような建物を広報やネットなどで広く紹介してほしい。
- 文化財保護審議会については、今後も文化財の保護や指定などに向けての、意見や助言をいただきたい。
- 文化財は、「守ること」「生活の中で生かすこと」が共存できることが望ましい。市民の文化財を大切に思う意識が高まることで、環境整備も行われ、地域起こしへと繋がっていく。「伊予の大阪・港町」と銘打って、浜之町、船場通り、本町、大法寺、菊池清治邸などをクローズアップしていくことも、地域起こしに繋がっていくのではないかと思われる。

【自己評価】

- 国重要文化財である日土小学校の見学会は関心が高く、全国各地から見学に訪れている。

新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、見学者の人数を制限するなど感染対策を取りながら今後も開催していきたい。

- 梅之堂三尊仏や旧白石和太郎洋館、菊池清治邸の一般公開について市ホームページなどで紹介を行っている。市民の皆様にもっと興味を持ってもらえるようなより魅力的な情報発信ができるように工夫したい。
- 文化財保護審議会では各分野の委員の方に熱心に議論をしていただき、意見や助言をいただいている。それをもとに文化財の保存・活用について進めていきたい。
- 市内には各所に貴重な建造物が残り、市の発展の歴史を伝えている。浜之町の菊池清治邸を拠点としてボランティアガイドやまちづくりの団体などと協力し、「伊予の大阪」と言われた八幡浜の魅力の発信や掘り起しを行っていきたい。